

ドライ・グルーピング工法



1・グルーピング機



4・電動ピックによるはつり作業



2・作業写真



5・コンクリート 10 mm cutter 入れ状況



3・グルーピング作業後の床面



6・平面切削（2mm）の状況

機材名	全長×全幅×全高（ミリ）	重量	動力方式	備考
グルーピングG-350E	1200～1784×637×1250	490 k g	三相 200 V 70 A 以上必要 15 k W	集塵機能付き

今まで苦労していた 10 mm以上のレベルダウンを水を使わないドライ工法により、カッターで切って横からはつるという画期的な発想により、20 mmぐらいまでのレベルダウンを容易に実現することができます。

（下地の状況により、変動します。）

また、カッターを替えることにより平面での切削が可能です。（写真・6参照）

本体には集塵機が付いており、粉塵の飛散を防ぐことができます。